

平成 27 年度 岡山大学大学院法務研究科  
法学既修者前期入試 試験問題

## 公 法 系（憲法、行政法）

### 解答上の注意

1. この問題冊子は、表紙を含め 2 枚である。
2. 問題には、問題 1 と問題 2 がある。配点は、問題 1 が 50 点、問題 2 が 50 点である。
3. 表裏に解答欄がある解答用紙は、問題 1 用と問題 2 用の 2 枚が配布されている。各問題ごとに解答用紙 1 枚を使って解答すること。
4. 解答用紙の受験番号欄に受験番号を算用数字で記入し、また試験科目欄に「公法系」と記入すること。なお、整理番号等その他の記入欄には記入しないこと。
5. 試験終了後、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ること。
6. 解答の際は、黒又は青のボールペンを使用すること。
7. 試験終了後、解答用紙と貸与した六法を回収するので、指示があるまで席を立たないこと。
8. その他は、すべて監督者の指示に従うこと。

**【問題 1】（解答の冒頭に「問題 1」と記入すること。）**

日本国憲法が立脚する代表制はいかなるものか。代表制の種類を紹介しつつ論じなさい。

**【問題 2】（解答は、【問題 1】を解答した用紙とは別の解答用紙に書き、冒頭に「問題 2」と記入すること。）**

違法な行政行為と不当な行政行為の異同について論じなさい。

《公法系問題 以上》

【出題意図】

問題 1

本問は、「全国民の代表」の意味という基本的な論点について問うことで、基礎的な知識の有無を測ることを目的としていた。

問題 2

本問は、行政法の基本的な論点について問うことで、基礎的な理解の有無を測ることを目的としていた。